



神野建設株式会社

SDGs・カーボンニュートラル宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行って参ります。

2022年6月24日
神野建設株式会社
代表取締役 神野 将弘

当社のSDGsへの取り組み

安全・安心な街づくりに貢献します



市民生活や産業活動の基盤となるインフラ整備に携わることで、地域社会の健全な発展と安全・安心な街づくりに貢献してまいります。

【主な取り組み】

- ・地域社会に必要な不可欠な道路工事・上下水道通信工事事業等を通じた生活インフラ整備
- ・建設機械に子供が喜ぶ独自のデザインを施し、威圧感なく生活環境に溶け込むよう工夫
- ・地域の環境美化への取り組みとして、清掃活動等のボランティアを継続実施

自然災害が及ぼす影響の抑制に努めます



自然災害が地域社会に及ぼす影響を最小限にとどめるよう、自治体と連携した防止活動・復旧活動に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

- ・安芸郡府中町および安芸郡海田町と「災害時における応急措置等の協力に関する協定」の締結。自然災害の被害拡大を防ぐ取り組みとして危険箇所の巡視・点検の徹底、自然災害発生時の交通整備等への協力

働きがいのある職場環境を目指します



充実した人材育成制度と社員一人ひとりが積極的かつ明るく楽しく働くことができる職場環境を整え、アットホームな企業づくりを実践します。

【主な取り組み】

- ・資格取得費用の全額負担や社内勉強会の定期開催等、充実した資格取得支援制度の導入
- ・仕事と育児の両立が図れるよう、男性社員の育児休暇取得を推奨
- ・社員の家族も参加できる社員旅行や食事会を定期開催することで、アットホームな企業づくりの実践

持続可能な地域社会の発展に努めます



自然環境保護に繋がる取り組みや豊かな生活環境の維持に資する活動を行うことで、持続可能な地域社会の発展に努めてまいります。

【主な取り組み】

- ・地元人材の積極的な採用による地域経済発展への貢献
- ・燃料消費量の低減が図られる建設機械に更新する等、省エネルギー活動の推進



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2030年までの国際目標（2015年9月に国連で採択）。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことをスローガンとしている。